

シンポジウム「災害対応システムの現状と未来」

日時：2014年1月22日（水） 13:00～15:00

会場：神戸国際会議場 401+402会議室
（神戸市中央区港島中町6-9-1）

参加費：無 料

阪神大震災および東日本大震災の経験を活かして、必ずまた発生するであろう災害に対する備えをすることが重要とされています。福島第一原子力発電所の事故の対応には、30～40年を要すると言われていますが、ただちに役立つ研究開発のみではなく、長期的な視野に立った研究開発をすることも重要だと考えます。本シンポジウムでは、災害対応システムの現状と未来についてご紹介致します。

是非ご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

講演プログラム

- 13:00-13:50 講演 1 「福島での経験を踏まえた遠隔機材と運用体制の
ありかた」
（川妻 伸二
日本原子力研究開発機構安全統括部 技術主席）
- 14:00-14:50 講演 2 「東日本大震災後の被災者・支援者等への
セラピー用ロボット・パロによる心の支援」
（柴田 崇徳
産業技術総合研究所ヒューマンライフ
テクノロジー研究部門 上級主任研究員
東京工業大学大学院総合理工学研究科 連携教授）
マサチューセッツ工科大学高齢化研究所
客員フェロー

シンポジウム終了後、若手研究者・技術者を表彰する「第九回競基弘賞授賞式」を開催いたします。（15:30～16:40）

国際レスキューシステム研究機構
神戸市長田区二葉町 7-1-18 地域人材支援センター 1 階
TEL: 078-641-2840 / FAX: 078-641-2841
e-mail: info@rescuesystem.org



International Rescue System
特定非営利活動法人
国際レスキューシステム研究機構